入学にむけての Q & A

QI. まだ文字を読んだり書いたりすることができないのですが、大丈夫でしょうか?

A. 小学校に入学してから、文字を学びます。鉛筆の持ち方、書く時の姿勢、正しい書き順などを少しずつ学んでいきます。

お子さんが新しい環境の中で安心できるように「自分の名前」に 関心をもっておくとよいでしょう。持ち物に名前を書くことも自分 の名前を見る機会を増やすことにつながります。

入学してから困らないようにと無理やり文字の練習をするのは望ましくありません。まずは、一緒にお話しながら手紙を書いたり、 絵本を読んだりして、文字を書いたり読んだりすることに興味をもたせることから始めてみましょう。「おもしろそう」「もっと知りたい」の気持ちが、小学校以降の主体的に学習に向かう 姿勢にもつながります。



身の回りの物の名前を付箋に 書いて貼っています。自然と 文字を意識できますよ。

Q2. 食べるのが遅い、食物アレルギー等、給食が心配です。

A. 学校では、給食を食べる時間は概ね 20 分程度ですが、 I 年生の初めは、食べられる量などを考慮し、食事時間を他の学年よりもゆったりと設定するような工夫をしています。家庭では、テレビを消して家族で会話をしながら、楽しく食事を進められる工夫をしてみませんか。

食物アレルギーについては、医師の診断のもと、アレルギー食材の除去食対応を行います。就学時の健診や入学 説明会等、入学前に就学先の小学校にご相談ください。



牛乳、ごはん、さわらの幽庵焼き、いそ 香和え、みつばのすまし汁、わらびもち

Q3. ちゃんと登下校ができるか心配です。

A. 通学班での登下校を基本としている学校もあれば、自由登下校の学校もあります。入学説明会等で登下校の方法等を確認しましょう。スクールバス等を利用する地区もありますが、徒歩の必要がある場合、ご家庭では、入学までに雨の日と晴れの日、一度ずつは通学路をお子さんと一緒に歩いておくと安心です。「子ども IIO 番の家」の確認もしておくとよいでしょう。また、集合時刻を守ることも必要です。時計を見て行動する習慣をつけるようにしましょう。

Q4. 学校が終わった後、子どもたちが過ごせる場所について教えてください。

A. 放課後児童クラブ、放課後子供教室、放課後等デイサービスの利用ができます。放課後や土曜日、長期休業日に、保護者が仕事などで昼間家にいない小学生の家庭に代わる生活の拠点となる場所です。家庭的な雰囲気の中で、子どもたちが自主的に宿題をしたり、本を読んだり、おやつを食べたりして安全に放課後の時間を過ごします。

各校区等によって異なりますので、利用条件等詳しくは庄原市 ホームページをご覧ください。 庄原市 児童クラブ



Q5. 心配なことがあるときにはどこに相談すればよいですか。

A. 「落着きがなく、授業中立ち歩いてしまうのでは…」「先生や友達にうまく気持ちを伝えられるか心配」等、就学に関して心配なことや配慮してほしいこと等がありましたら、まずは通っている園・所、あるいは児童福祉課にご相談ください。保護者の方と共に考え、必要に応じて関係機関を紹介し、小学校と連携します。

お問合せ

庄原市 生活福祉部 児童福祉課

TEL.0824-73-1192 FAX.0824-75-0195 Mail:jidou-fukushi@city.shobara.lg.jp

庄原市教育委員会 教育部 教育指導課

TEL.0824-73-1184 FAX.0824-73-1254 Mail:edu-sidou@city.shobara.lg.jp



子どもたちの「今」は未来へとつながります。全力で遊んだ経験や親子での温もりのある やりとりは、子どもたちが豊かに成長するための土台となります。

庄原市では、「今」を生きる子どもたちが保育所・幼稚園・こども園で思いっきり遊び、遊びを通して芽生えた力を小学校での学びに生かせるよう、園・所と小学校が連携しています。このリーフレットは、一人一人の子どもたちが全力で充実した「今」を過ごせるよう、家庭、地域、園・所、小学校が協働して子どもたちの成長を見守り支えることを目指して作成しました。

ŧ

学

遊びを通して学ぶ時期

学びの芽生え



遊びで育んだ5つの力が小学校での生活や 学習の基盤となります

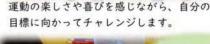
アプローチカリキュラム

各教科等の学習を通して学ぶ時期

自覚的な学び



上級生や、先生、地域の人など、多様な他者 とのかかわりを大切にしています。





言葉、劇など、いろいろな方法で、考 えたことを表現していきます。

自分の力でじっくり考えます。友達の考え を聞いて、さらに自分の考えを深めます。

園・所での遊びや生活とのつながりを意識して 学習を進めています

スタートカリキュラム

0歳…

家庭

域等で

年長児

小学 | 年生

…18歳

子どものよりよい成長に向け 家庭で大切にしたい3つのこと

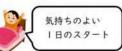
生活リズムを整えましょう!

生活リズムが整うことで、学習や運動に向かう気持ちや、自 分のことは自分でするといった自立に向かう気持ちが高まり ます。

■ 早寝・早起き・朝ごはん



目安は9時間





あいさつ・返事

人と人との関係づくりの第1歩です。大人の姿を見ながら、 子どもたちも自然とできるようになります。

たっぷり遊ぼう

昼間、体を動かして遊ぶことは、しっかりと睡眠ができる ことにもつながります。体を動かす遊びや自然体験など、家 族で一緒に楽しみましょう。そのためにも、家庭で、テレビ やゲームのルールを決めておくことも必要です。

家庭が子どもにとっての『安心基地』と なるようにしましょう!

どんな時もありのままの自分が受容され、安心して自己発揮 する中で、自分のよさに気付き、好きなこと、得意なこと、 できることが増えていきます。

小さな成長に目を向けよう

できていないことを見つけるのではなく、これまでの成長 を肯定し、一緒に喜び合いましょう。他者との比較ではなく、 小さな成長の積み重ねをしっかりと褒めましょう。

I(アイ)メッセージを送ろう

「私はあなたの成長がうれしい」「私は今のあなたが大好 きだ」とお子さんに伝えていきましょう。子ども自身が愛さ れていることを感じた時、意欲や挑戦する力になります。

たくさん話そう

言葉で気持ちや思いを伝え合う力が育まれます。特に、子 どもの話を最後まで聞くようにしましょう。聞いてもらえる こと、受け止めてもらえることは心の安定にもつながります。

子どもの「やってみたい」を大切に しましょう!

夢中になって遊ぶ中に多くの学びがあります。生活に必要な 知識や技能、考える力を遊びを通して身に付けていきます。

!!! 見守ろう

子どもは失敗を繰り返しながら成長していきます。失敗し ないように先回りするのではなく、まずは子どものチャレン ジを見守りましょう。チャレンジする姿を見守られ、認めら れることで主体性や自己肯定感が生まれます。

子どもに決めさせよう どうすればよいか一緒に考え、子どもが決めたことを尊重 しましょう。主体性をのばすことにもつながります。

お手伝いに感謝しよう

幼児期の子どものお手伝いは、はじめは保護者の姿を真似 ることの楽しさや「やってみたい」という気持ちから始まり ます。できた程度に関わらず、「ありがとう」の言葉が返っ てくることで子どもたちは人のために何かすることの心地よ さを感じることができます。